



(常陸太田市提供)



### 前島 平

まえじま たいら

慶応元年(1865)ー昭和8年(1933)

茨城の電気王

水戸市・常陸太田市



水戸の火力発電所(『前島平』より転載)

茨城郡渋井村(水戸市)出身。水戸藩士井坂家の二男に生まれるが、15歳で久慈郡太田町(常陸太田市) 亀宗呉服店に奉公、20歳で亀宗本家、前島家の養子となる。その後太田銀行取締役、町会議員、郵便局長等を兼任。明治37年(1904)シーメンス社外交員の話から電気に関心をもち、久慈郡中里村(日立市)に水力発電所建設を計画。同39年(1906)茨城電気株式会社を設立。発電所は送電前に日立鉾山に買い取られるが、その資金で同40年(1907)水戸市に火力発電所を建設し8月10日、茨城県で初めて水戸市に電灯が灯った。大正10年(1921)、茨城電気を茨城電力株式会社に改め、同14年(1925)合併により東部電力株式会社設立後は、副社長となり東京に移る。電気事業の発展に生涯を捧げる。

#### 主な内容

- ▼ 関東甲信越ブロック会議を開催
- ▼ 女性部会「建女ひばり会」が発足
- ▼ 台風被害の千葉県を支援
- ▼ 高校生等の現場見学会スタート

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

☎ 310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 週休二日制の推進を要望

## 全建が関東甲信越ブロック会議

全国建設業協会（近藤晴貞会長）の令和元年度関東甲信越地域懇談会・ブロック会議が9月3日に都内の経団連会館で開催され、国土交通省の幹部などを招いて活発な意見交換が行われました。本会からは「公共事業における週休二日制工事の計画的推進」を要望しました。

関東甲信越地方建設業協会長会の小俣務会長は「地域建設業が地元を支えるための工事量は増えておらず、週休二日制に対しても環境整備が整っていない。本日は各建設業協会からの切実な意見が述べられるので、今後の施策対応に充てていただきたい」と求めました。

来賓あいさつで国交省大臣官房の林俊行建設流通政策審議官は「来年度は10年ぶりに7兆円を超える予算を要求した。国民の安全安心の確保や生産性と成長力の引き上げの加速、豊かで暮らしやすい地域づくりを実現するためにも、令和最初となる予算編成で国土交通省の使命を全うできるように必要な予算を確保に全力で取り組む」と約束しました。

関東地方整備局の石原康弘局長は、台風15号被害に言及し「関東では港湾施設でいくつかの大きな被害を受けた。物資の供給としてブルーシート11万枚以上、土のう17万個以上、水4万本、非常食3万食以上を集めた。また台風通過後のブルーシート張りは450棟以上で行っていただいた。再建へ向けてご支援を」と要請しました。

全建の近藤会長も「被災地の一日も早い復興・普及を願います」と切り出し、「本年度は新・担い手3法が制定され、働き方改革の促進や生産性向上、災害時の緊急対応など建設業に関する制度改革が図られた。健全で安定した経営基盤の確保が必要で、そのためには安定的かつ継続的な事業量



活発な意見が交わされたブロック会議

の確保が必要不可欠になる。発注者の皆さまにもご理解とご協力をいただきたい」と強調しました。

千葉県の畔蒜毅会長からは、台風15号の被害報告と各県協会、関東整備局に対する支援への御礼の言葉を述べました。

各協会からの要望は▽中・長期計画に基づく公共事業予算の継続的確保、地域建設業の受注機会確保（千葉県）▽低入札価格調査基準の改定の御礼と算定方法における一般管理費に乗ずる係数の引き上げ（長野県）▽担い手確保に向けた設計労務単価の引き上げ（埼玉県）▽公共事業における週休二日制工事の計画的推進（茨城県）▽地域の守り手の位置付け（栃木県）▽工事における熱中症対策費用（群馬県）▽現場技術者の引き抜き（山梨県）▽安定的・持続的な道路除雪体制の確保（新潟県）▽市町村への品確法運用指針の徹底（神奈川県）。

# 女性部会「建女ひばり会」発足

入職促進、女性活躍に貢献を



発足式に集った女性部会員



柳瀬女性部会長

本会会員の女性技術者などによる女性部会「建女ひばり会」が発足しました。9月12日には発足式と記念パーティーを水戸京成ホテルで開催。県内の建設業界で働く女性同士としてネットワークを構築し、女性活躍の広報活動や現場見学会、勉強会、他の女性の会との情報交換などを行い、女性技術者などの活躍を支援していきます。

会長には柳瀬香織氏（海老根建設(株)代表取締役、大子支部）が就任しました。柳瀬会長は「建設業で女性が活躍していることを大きくアピールしていきたい。会員さんの協力を得ながら運営していきたい」と抱負を話しています。

発足式では、女性部会の設立趣旨を発表。建設業における女性技術者等の活躍を支援するとともに、建設業界のさらなる発展に寄与するため設

立しました。会員は114人です。

発足式の後には設立記念パーティーを開催。

本会の石津健光会長は「建設業界に女性が入職できる取り組みが求められており、女性が活躍する場を上げていただくことは、業界の発展にもつながる。さらなるご活躍を」と望みました。

来賓の宇野善昌副知事、国土交通省常陸河川国道事務所の原田昌直所長も女性部会の設立を祝福し、建設業における女性の活躍が不可欠であり、より良い建設現場づくりへ力を発揮することに期待を表しました。

## 建女ひばり会 役員（敬称略）

### 【会長】

柳瀬 香織（海老根建設(株)代表取締役、大子支部）

### 【副会長】

高倉 美佳（高倉建設工業(株)代表取締役、常陸大宮支部）

高野 和子（(株)鯉淵工業取締役、水戸支部）



# 台風被害の千葉県を支援

## 全支部から集まった支援物資を届けました

本会では、台風15号によって甚大な被害を受けた千葉県を支援するため、9月15日と16日、災害協定に基づく国土交通省関東地方整備局からの要請を受けて千葉県に支援物資を届けました。

支援した物資はブルーシート3071枚、土のう袋2万7120枚、ロープ1万7950m。全12支部から集め、15日に館山市、16日には鋸南町と南房総市に石津健光会長自らがトラックで搬送しました。

石津会長は「ご苦労されている千葉県民の皆さまのお役に立てればと思い協力させていただいた。



石津会長自らが支援物資を届けました

一日も早い復旧をお祈り申し上げます」と話しています。

## 作業員を派遣、ブルーシート設置に協力

本会では、台風15号で被害を受けた千葉県鴨川市へ作業員を派遣し、ブルーシート設置などを9月24日から9月28日まで行いました。国土交通省関東地方整備局との災害協定に基づく災害応急対策業務の出動要請を受けたものです。

作業員延べ85名が家屋屋根へのブルーシート設置等の応急処理、屋根材や倒木等の撤去作業を実施。修復した家屋は20棟となりました。

石津健光会長は「住宅屋根の多くが損傷し、早急な対応が必要であるが、屋根へのシート張りができる人材もままならないと聞きました。会員の皆さまのご協力を得て作業員を派遣することができたので、被害を受けた方々の力になれるよう尽力しました。千葉の皆さまが、また安心して暮らせる日が一日でも早く訪れるよう、お祈り申し上げます」と話しています。



壊れた屋根瓦の撤去を行いました



ブルーシート張りに協力

## 改訂内容など研修

### 公共建築の積算講習会



本会は公共建築工事の積算講習会を9月6日、水戸市の県建設技術研修センターで開催しました。参加した会員企業の技術者は、令和元年度の公共建築工事の積算基準の改訂内容などを研修し、工事費を構成する細目の事例について演習を行い、理解を深めました。

## ホームページでPR重要

### 採用戦略セミナー



本会は、人口減少時代の採用戦略セミナーを9月20日に水戸市の県開発公社ビルで開催しました。第1部では心理カウンセラーの伊藤やすお氏を招き、企業パンフレットやホームページ等の重要性を研修。第2部ではパンフレットやホームページの製作ノウハウを持つ3企業によるプレゼンテーションが行われました。

## 道路管理や新技術学ぶ

### 舗装技術講習会



本会は日本道路建設業協会関東支部と茨城県建設産業団体連合会と共に舗装技術講習会を9月25日に、水戸市の県建設技術研修センターで開催しました。会員企業の技術者など参加した約120人は、国土交通省による道路管理の状況や舗装の新技術、生コンクリートの単位水量の測定方法などについて研修しました。

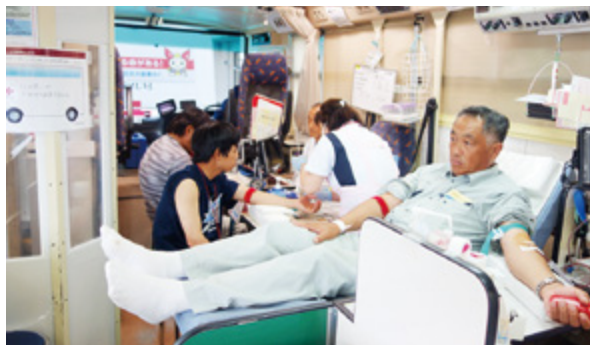
## 本県から3名などが受賞

### 建災防全国大会 安全衛生表彰

第56回全国建設業労働災害防止大会が9月26日と27日に福岡市で開かれ、労働災害防止活動に顕著な功労・功績のあった者を称える安全衛生表彰が行われました。茨城県関係では3人、2社、1工事現場が受賞しました。おめでとうございます。

茨城県関係の受賞者（敬称略）

- ◆功労賞＝三澤俊介（藤和建設株）
- ◆功績賞（安全衛生推進者）＝宇野泉（会沢建設株）、瀧文雄（株瀧工務店）
- ◆優良賞（会社）＝郡司建設株、株高橋芝園土木
- ◆優良賞（工事現場）＝昭和・藤井・飯塚特定JV（鉾田南中学校区統合小学校校舎等新築工事）

水戸支部  
活動報告175人が  
献血に協力

水戸支部（尾曾正人支部長）は9月3日、「愛の献血会」活動を水戸市の県建設技術研修センターで行い、呼び掛けに応えた会員企業の社員など175人が協力しました。水戸支部の献血活動は今回で37回目。福山瑞男親睦文化活動委員長は「献血会は長い歴史のある社会貢献活動。継続し、次の世代につないでいきたい」と話しています。

## 労働災害防止を推進

鉾田支部が安全衛生大会



鉾田支部（羽生義隆支部長）では9月20日、安全衛生大会を同支部会館で開催しました。約100人が参加し、労働災害や防犯などについて知識を深めました。羽生支部長は「今後とも安心安全な工事現場で協力し、労働災害防止活動を推進していきたい」と呼びかけました。

## 公共事業費に187億円追加

県9月補正 圏央道アクセスなど推進

県は令和元年度9月補正予算に、公共事業費は国補173億3600万円、県単13億9300万円の合計187億2900万円を追加しました。圏央道アクセス道路、国の緊急対策に係る道路整備や法面对策、国補河川改修の橋梁架け替えや河道掘削などを推進します。

新規事業では、カシマサッカースタジアムサブグラウンド整備事業で測量、設計、整備工事などに2億9100万円など。

新たな債務負担行為の設定では、茨城港常陸那珂港区の浚渫土砂処分場整備の工事請負契約（令和2年度～3年度、限度額15億円）などを計上しました。

## 県9月補正 公共事業費

【国補＝173億3600万円】

◆地方道路整備事業＝126億5000万円

- ・圏央道アクセス
- ・国の緊急対策の道路整備、法面对策など
- ・合計75カ所

◆河川改修事業＝30億2000万円

- ・堤防整備、掘削など24カ所ほか

【県単＝13億9300万円】

◆防災減災対策＝4億3000万円

- ・護岸修繕7カ所
- ・港湾浚渫1カ所ほか



## 高校生等の現場見学会始まる

入職促進へ魅力発信！

会員の皆様のご協力を得て、本年度も高校生等を対象とする建設現場見学会がスタートしました。12校の生徒が建設現場を体感することで、建設業界への関心を高めてもらいます。

9月12日には県立海洋高等学校の生徒を対象に実施。海洋産業科の2年生36人が、茨城港常陸那珂港区で次期処分場護岸整備工事の現場、常陸大宮市の砂防堰堤工事の現場を見学しました。



常陸那珂港で起重機船の作業を見学しました

### 【現場見学会の実施計画】

- ◆筑波研究学園専門学校建築環境学科（10月11日）、桜川西アパート102号棟建設工事ほか
- ◆土浦工業高等学校土木科（10月18日）、主要地方道美浦栄線道路改良工事ほか
- ◆水戸農業高校農業土木科（10月23日）、橋梁上部工事（下埧橋）ほか
- ◆下館工業高校建設工学科（10月29日）、国道125号橋梁下部工事ほか
- ◆水戸工業高等学校建築科（10月31日）、土教学第1号（仮称）市立学校給食センター建築主体工事ほか
- ◆つくば工科高等学校建築技術科（10月31日）、30市立水府小・中学校一貫教育学校校舎建築工事ほか
- ◆真壁高校環境緑地科（10月31日）、国道416号（仮称）北沢トンネル工事ほか
- ◆水戸日建工科専門学校建築設計科、建築インテリアデザイン科（11月8日）、平成30・31年度ひたち野うしく中学校新築工事ほか
- ◆土浦工業高校建築科（11月14日）、土教文工第1号市民会館耐震補強及び大規模改造建築主体工事ほか
- ◆水戸工業高校土木科（11月19日）、国道354号橋梁上部工事（木田余跨線）ほか
- ◆茨城大学工学部都市システム工学科（11月20日）、国道416号（仮称）北沢トンネル工事ほか

### 会員の動向

#### 〈新規入会〉

##### ▽潮来支部

##### 日向寺工業

代表者：日向寺 隆

住 所：〒311-2213 鹿嶋市中612-1

電 話：0299-69-0196

#### 〈代表者変更〉

##### ▽水戸支部

株木建設(株)

株木 雅浩 → 株木 康吉

### ちよつと言



令和初となる第74回国民体育大会が茨城県において開催され、9月28日から10月8日までの11日間、県内各地で熱戦が繰り広げられました。2万人収容のスタジアムが満員となり、入場規制のかかった硬式野球初日をはじめ、各競技とも多くの観客で賑わいました。茨城県は45年ぶり2度目の天皇杯と皇后杯を獲得しました。県内外に茨城県の魅力と実力を示すことができた充実の大会となり、嬉しい限りです。 (K)

– 8 –